

ウズベキスタンの人材送出し に関するセミナー

8.5 (火) 15:00-16:00

@オンライン（要申込み）
参加費無料

JICA × ウズベキスタン移民庁
GROW（日本での就労機会を活用した
産業人材育成）プロジェクトに関連して





「ウズベキスタン人材セミナーby JICA 日本での就労機会 を活用した産業人材育成プロジェクト」

プロジェクト期間 : 2024.3~2027.3

カウンターパート : 移民庁

ポータルサイト : Japan Career Portal

プロジェクト目標：ウズベキスタンの産業発展に貢献する人材育成

適切な情報提供

[Japan Career Portal](#) を通じて、日本就労情報・在留ウズベキスタン人の体験談や、ウズベキスタンの送出手続等を発信しています。

送出機関の能力強化

送出機関の渡航前講習の改善や新規送出機関の設立支援を通じて、送出機関の質の向上を図ります。

+ 還流支援

日本企業との連携支援

送出機関・教育機関と日本企業との連携を促進し、適正な送出ネットワークの構築を目指します。

ウズ人の就労促進支援

ウズベキスタンで受験できる特定技能試験の分野拡大（外食）や制度周知活動を通じて、就労促進支援を行います。

ウズベキスタンの基本情報



人口 (2024)	3,680万人
平均年齢 (2024)	男性28.3歳 女性29.7歳
平均賃金 (2024)	400ドル ※タシケント700ドル
民族	ウズベク系（78%）、ロシア系（4.6%）、 タジク系（4.8%）など
宗教	イスラム教
産業	繊維産業、農業、金、石油、天然ガス



ウズベキスタンの文化

・食文化

- ・主食はパンだが米や麺も食べる
- ・肉は羊・牛・鶏肉中心
- ・野菜・果物も安くおいしい
- ・酪農も盛ん

・陶器・織物

- ・色鮮やかで日本人が気に入るものも多い



ウズベキスタンの文化②

・世界遺産

- ・ かつてはシルクロードの中心地で、著名なイスラーム建築が複数ある



ウズベキスタンと日本

・抑留者とナボイ劇場

- ・ ソ連軍により強制連行された日本人抑留者が建設に従事した。



ウズベキスタンと日本

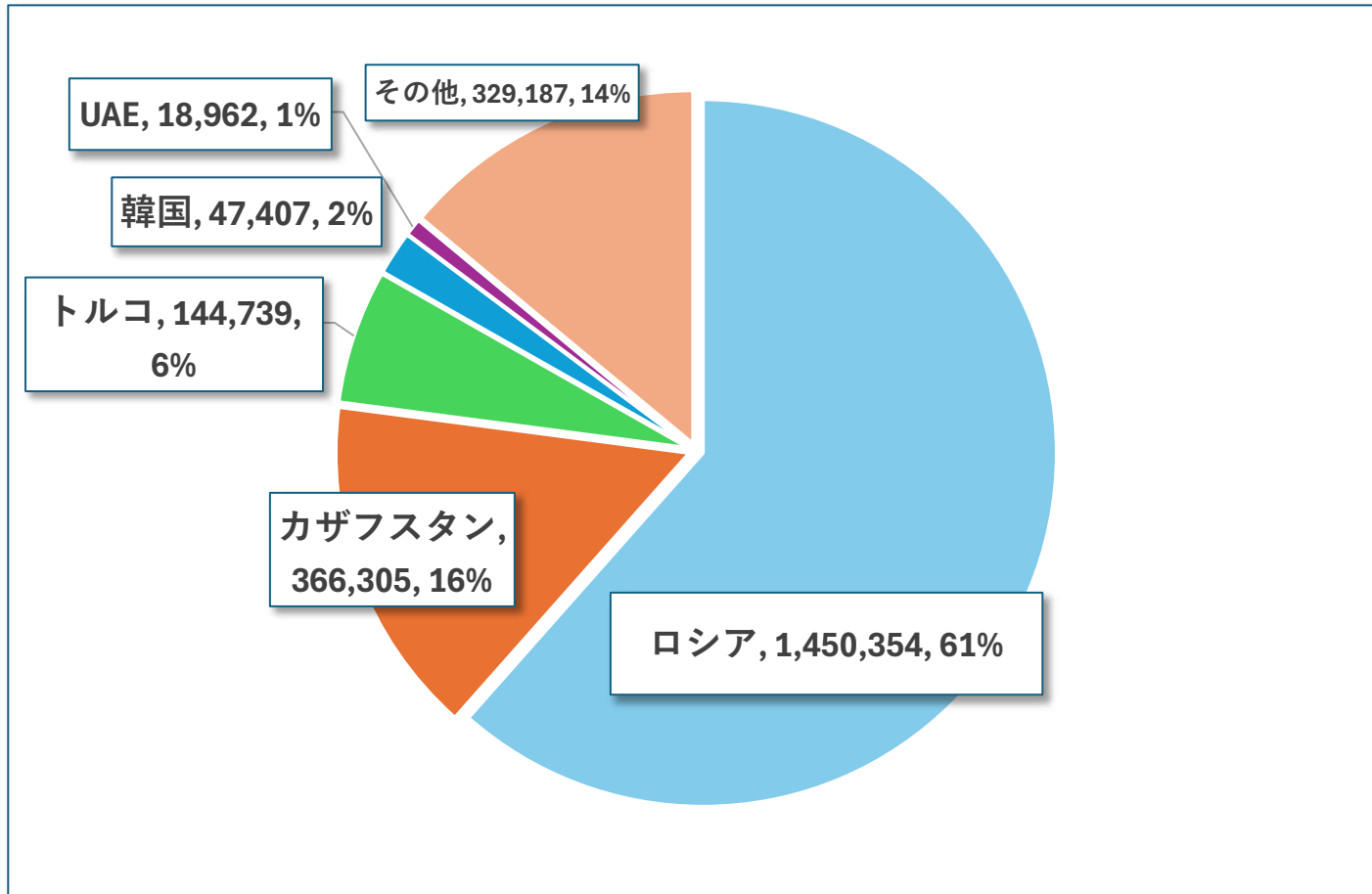
• 日本人墓地

- 現地の方が日本人墓地を管理してくれている
- 毎年在住日本人による墓参会が行われる



ウズベキスタン移民労働者数 Stock & Flow

総数 : 2,356,954人 (2022.3)



◎ 年間送出国数(2024)
約162, 000人

◎ 移民庁による関与 (2023)

※出典 : IOM Migration Situation Report

総数	38,401
ロシア	29,249
韓国	4,882
英国	1,929
カザフ	1,326
その他	1,015 (うち日本49)

現地での日本語教育の展開

日本語専攻設置の主要国立大学

日本語
履修学生数

	タシケント国立東洋学大学 Tashkent State University of Oriental Studies	1918年創立 1992年中央アジアで初めて 日本語学科設立	600人
	ウズベキスタン国立世界言語大学 Uzbekistan State World Languages University	1949年創立 2014年に日本語専攻設置	800人
	サマルカンド国立外国語大学 Samarkand State Institute of Foreign Languages	1994年創立 日本語専攻設置	500人

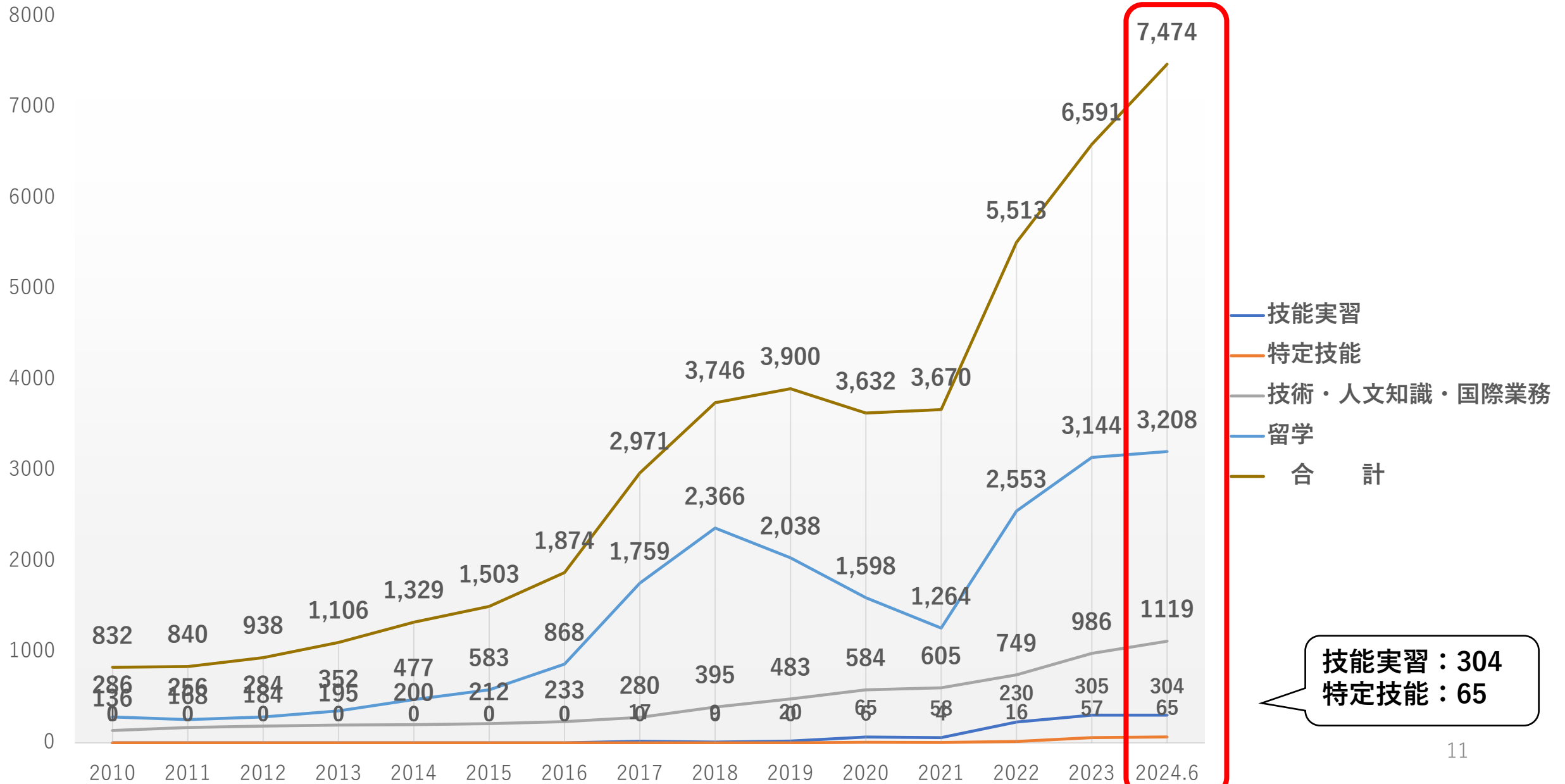
日本語学習者数 : 5000～6000人ほど

他大学での日本語教育 : タシケント国立法科大学、タシケント国立農業大学、

Japan Digital University（デジタルナレッジ社による設立）ほか

※民間日本語学校・国営職業訓練校でも日本語教育が行われているが、日本語教師の質・量に課題がある。

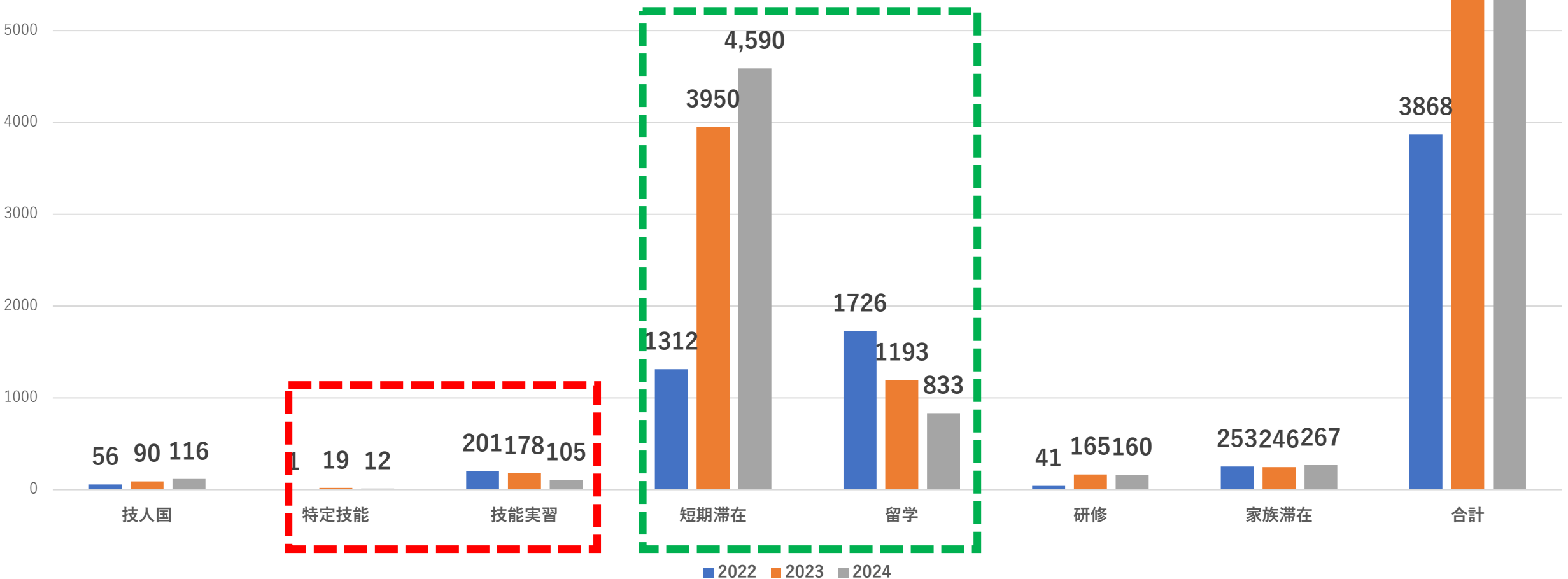
在留ウズベキスタン人の推移



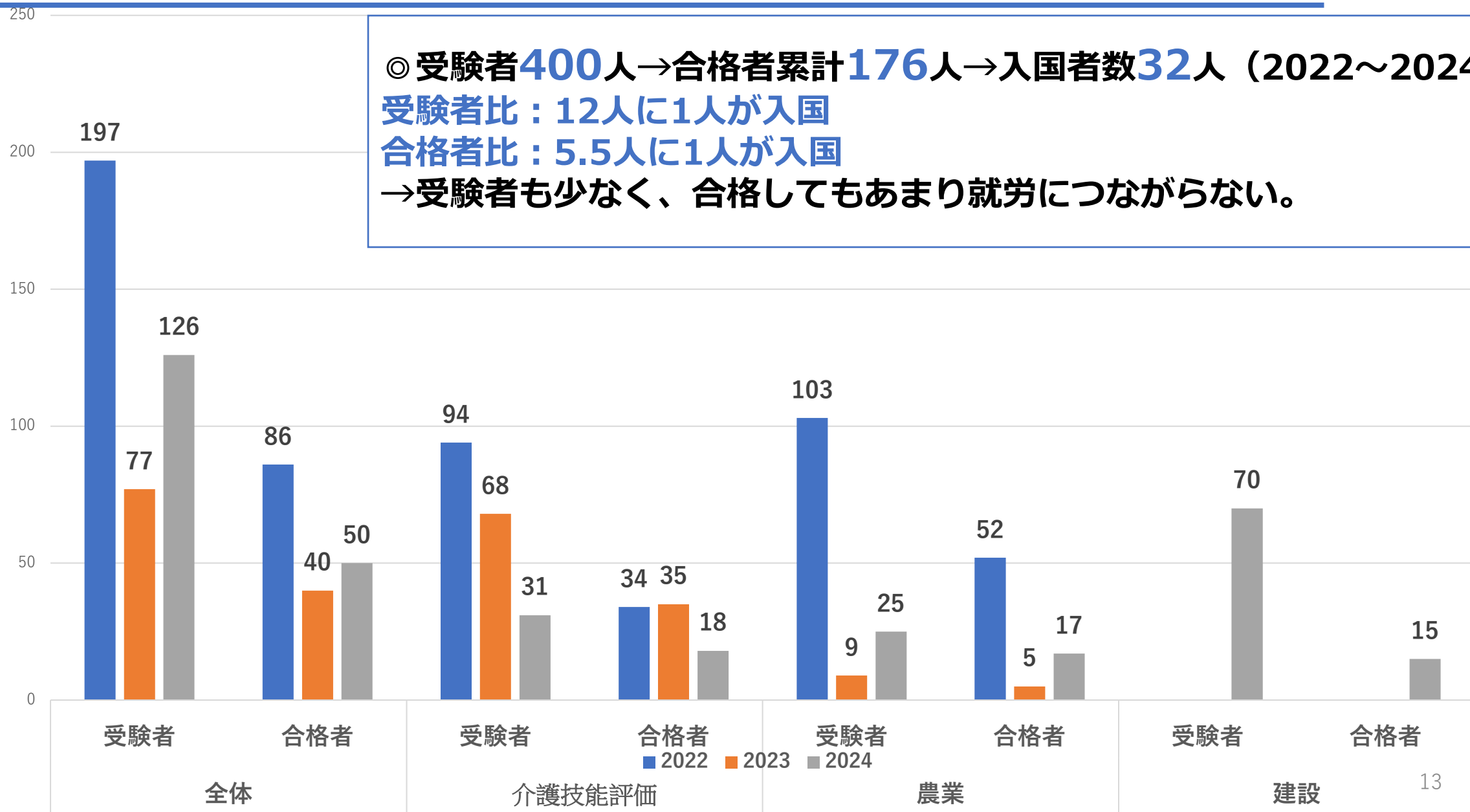
ウズ→日 新規入国者数 2022年～2024年

出典：出入国管理庁「国籍・地域別 新規入国外国人の在留資格」

- ◎ 就労人材の送出しができていない
- ◎ 留学・短期滞在が顕著に多い

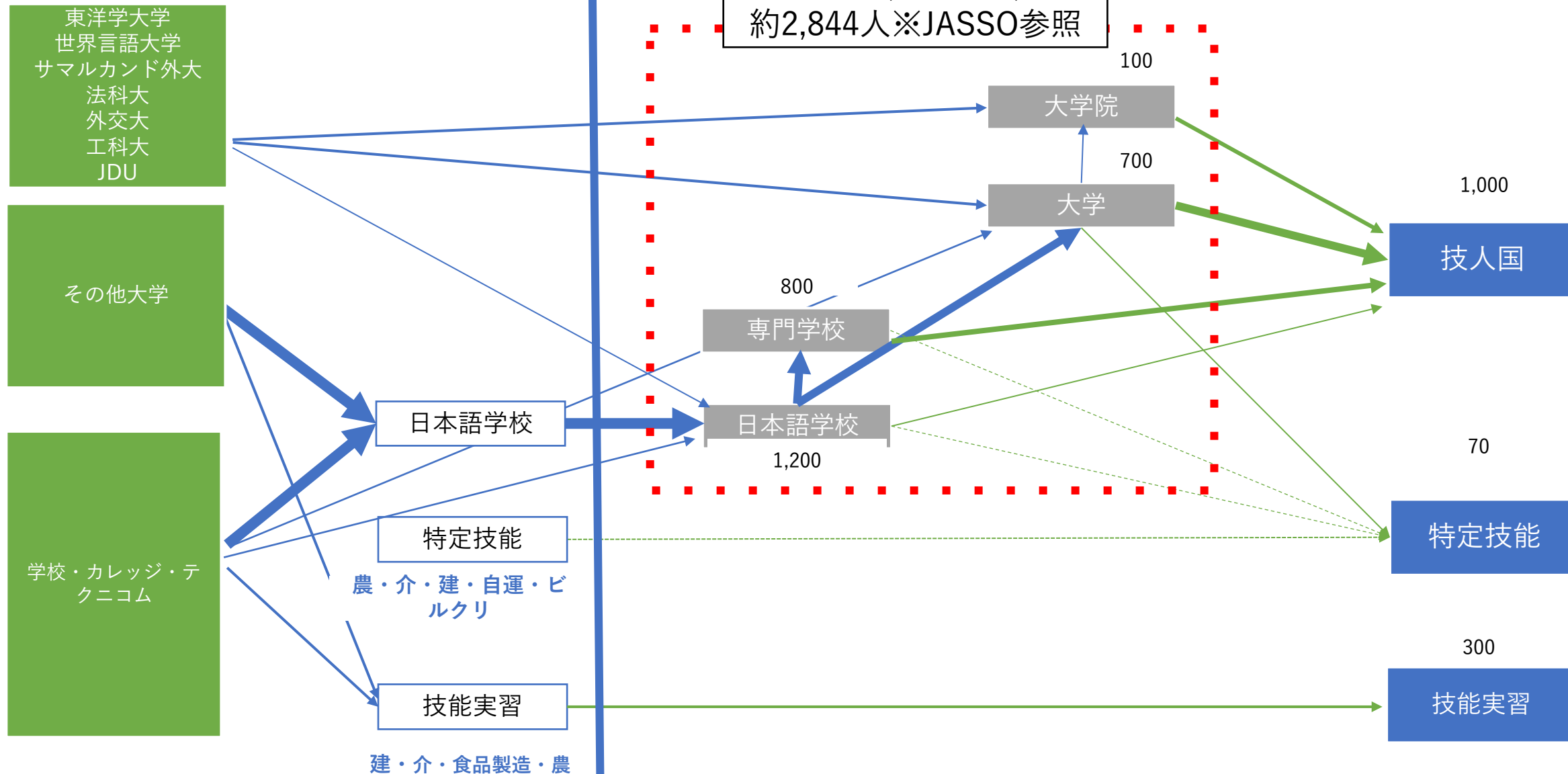


特定技能試験@ウズベキスタン 2022-2024



ウズ→日 移動の現状

留学生(2024.5.1)
約2,844人※JASSO参照



- ◎日本への送出実績 : 移民庁 + 民間5社のみ (民間送出機関の総数: 30社~)
 - ◎送出手数料 : 多くの送出機関は2000~3000ドル程度を徴収※移民庁は無償 (見込み)
 - ◎送出機関の設立 : デポジットとして約13万ドル必要だが、外資による設立も可能
 - ◎失踪率 : 他国と比べて高い
- ※2018年に民間送出機関が解禁。まだ日本の制度や実務を熟知した現地関係者がいない印象

名称	所在地	送出人数 (累計)	分野	日系企業の関与
移民庁	タシケント	150名~	建設中心	大手建設企業と連携
Reiwa	アンディジャン	120名~	建設中心	なし
Mirai	リシタン	70名~	介護中心、一部農業	あり
MIGO	ナマンガン	175名~	食品製造・農業・建設等	あり
Common Sense	アンディジャン	30名~	建設中心	あり
Fairness Japan	タシケント	30名~	介護・建設・農業等	あり

プロジェクトによる日本企業の連携支援

日本側機関	ウズベキスタン側機関	連携内容
自治体・大学・社会福祉法人	高等教育省・看護学校	現地看護学校での日本語教育の実施支援
ONODERA USER RUN	移民庁	人材育成・送出しに向けた移民庁との連携支援 ※移民庁の施設を無償利用
広済堂ビジネスサポート	移民庁・日本語学科を有する 国立大学	移民庁との就労セミナーの実施支援 日本人日本語教師の派遣に向けた国立大学との 連携支援
旅行業者・監理団体等		新規送出機関の設立に向けた情報提供

※その他

日本語教育を実施している農業大学での日本語教育支援、日本の農業関係者へのPR活動

農業大学での日本語教育

タシケント国立農業大学



設立 : 1918年

教員数 : 1,100人

学生数 : 15,000人 (地方出身者が大半)

・日本語コース

学生数 : 約30名 (男女比4 : 6)

講師 : 1名 (JICAボランティア)

授業 : 週2回×2時間

※来年度週3回を予定

目標 : 留学・就労

カラカルパク国立農業大学



学生数 : 3,500人

学長 : 東京農工大で修士 博士取得

就職率 : 37%

日本との連携 : 公益財団法人OISCAなど

・日本語コース (OISCAによる実施)

学生数 : 13名 (男女比7 : 3)

講師 : 3名 (OISCAボランティアなど)

授業 : 週2回×2時間

目標 : 留学・就労



日本企業・団体の取組例

組織	概要
名古屋大学	2005年にタシケント国立法科大学内に名古屋大学日本法教育研究センターを設置 日本語による日本法教育を実施しており、修了生は100名を超える https://cale.law.nagoya-u.ac.jp/about_cale/overseas
株式会社デジタルナレッジ	2020年にJapan Digital University設立 日本国内の提携大学の授業に参加し、日ウズ双方の学位を取得できる仕組み
大手建設会社	移民庁と連携して、数十名の建設人材送出しに関与
株式会社物語コーポレーション	ウズベキスタン共和国他と「日本の飲食業へ就職を希望するウズベキスタンの若手日本語話者人材の育成と就業支援」における包括連携・協力に関する覚書 https://www.monogatari.co.jp/news/240902_uz/
株式会社日本旅行	ウズベキスタン人材の育成及び日本国内における就業機会の提供に関するパートナーシップ協定を締結 https://nta-corporate.jp/wp-content/uploads/2025/02/uzubekisutan_mou.pdf
株式会社広済堂ビジネスサポート	移民庁と連携した日本就労セミナーの実施 現地国立大学日本語学科における日本語教育の連携
株式会社Proud Partners	運送業向け特定技能人材育成プロジェクト https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000007.000155502.html
一般財団法人 日中亜細亜教育医療文化交流機構	ウズベキスタンからの特定技能人材1万人受け入れプロジェクト https://kyodonewsprwire.jp/release/202506040006
株式会社ONODERA USER RUN	移民庁の施設にて日本語教育、介護・外食分野の教育を開始予定(2025.9) https://onodera-user-run.co.jp/news/8837/

問い合わせ先

- ご質問やお問い合わせがありましたら、お気軽に以下の連絡先までご連絡ください。

yoshikawa@jica-jcp.uz

- 移民庁に直接お問い合わせをした場合は、アクバラリ氏にご連絡ください。

Akbarali.Mirzayev@migration.uz